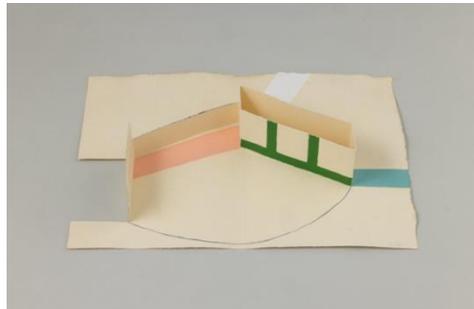


## 初公開！奈良美智など新収蔵の現代美術作品を展示します

美術博物館では、美術コレクション展「コレクターズ アイ 90年代を中心に」を開催します。令和5年度に寄贈された奈良美智の《Untitled》《黒頭巾》をはじめ、故中島公彦氏の現代美術コレクション「中島コレクション」から選んだ約30点により1990年代の作品を中心に紹介します。

奈良の、鋭い視線をもつ子どもは91年頃から96年にかけて集中的に描かれ、画家の代名詞的作品といえます。また、中島コレクションが最も精力的に収集されたのが90年代から2000年代初頭であることから、90年代を本展のキーワードとしました。

### <おもな展示作品>



奈良美智 《Untitled》《黒頭巾》  
2点とも1996年 ©Yoshitomo Nara

伊藤誠 《品 III》1999年 ©Makoto Ito

- 展覧会期：令和6年4月13日（土）～6月2日（日） 9:00-17:00 月曜休館
- 展示概要：奈良美智(4点)、伊藤誠(11点)、設楽知昭、チャールズ・ウォーゼンなど
- 会場：1階 展示室4
- 観覧料：無料
- イベント：びはく講座 「特別ゲスト 伊藤誠氏に聞く—90年代の作品について」  
日時：5月25日（土）午後2時～3時  
場所：講義室 定員30名（申込順）資料代100円  
申込：5月1日（水）から美術博物館ホームページで受付

### <鑑賞ポイント>

奈良美智：かわいいだけではない、子どもの自我や個性をあらわした表情が印象的です。  
伊藤誠：「彫刻のような版画」として制作された、開くと立体になるシルクスクリーン作品です。

### <中島コレクション>

豊川市の美術品コレクター、中島公彦氏（なかじま きみひこ 平成28年死去、61歳）が収集した現代美術のコレクション（全51点）。令和5年度に遺族から美術博物館へ寄贈された。一つ一つは小品だが特徴があり、コレクターの良質な目線がみてとれる。

（裏面へつづく）

## ■おもな作家略歴

### 奈良美智（なら よしとも）

1959年、青森県に生まれる。1987年、愛知県立芸術大学大学院修了。88年に国立デュッセルドルフ芸術アカデミーに留学。独特な相貌の子どもや動物などを描いて注目を集める。2000年に帰国。01年以降、国内の美術館で本格的な個展が開催され、高い人気を博す。23-24年、青森県立美術館で大規模な回顧展が開催された。

### 伊藤誠（いとう まこと）

1955年、名古屋市に生まれる。1983年、武蔵野美術大学大学院修了。96-97年、文化庁派遣芸術家在外研修員としてアイルランドに滞在。2008年から17年まで、美術家と執筆家の協働企画「引込線」に実行委員として参加する。FRP、ゴム、ステンレス、ブリキなど身近な素材から「誰にとっても知らない場所」をつくる。武蔵野美術大学彫刻学科教授。

## ■展示作品（予定）

1. アンリ・ミショー 《1967-9》 1967年
2. アンリ・ミショー 《V5》 1972年
3. 榎倉康二 《一つのしみ No. 6》 1979年
4. 郭仁植 《Work84-3》 1984年
5. 加納光於 《目覚めよ白兎 III》 1991年
6. 加納光於 《Circle-波打つ眉をしずめよ No. 37》 1996年
7. 奈良美智 《NO YES》 1988年
8. 奈良美智 《エテ公》 1991年
9. 奈良美智 《Untitled》 1996年
10. 奈良美智 《黒頭巾》 1996年
11. 設楽知昭 《鏡 I -2》 1996年
12. 設楽知昭 《Cinerario》 1997年
13. 設楽知昭 《Necropoli》 1998年
14. 設楽知昭 《1997, , 1999》 1999年
15. チャールズ・ウォーゼン 《Mosaic》 1997年
16. チャールズ・ウォーゼン 《無題》 1997年
17. チャールズ・ウォーゼン 《FEELER》 2000年
18. 伊藤誠 《無題 1》 1991年
19. 伊藤誠 《無題》 1992年
20. 伊藤誠 《Ridge3》 1994年
21. 伊藤誠 《無題》 1995年
22. 伊藤誠 《drawing》 1995年
23. 伊藤誠 《無題（真面目なサーカス）》 1996年
24. 伊藤誠 《drawing》 1996年
25. 伊藤誠 《drawing》 1998年
26. 伊藤誠 《98・記憶 1》 1999年
27. 伊藤誠 《品》（5点組） 1999年
28. 伊藤誠 《無題》 2001年